

神の祭壇、すなわち全焼のささげ物の祭壇の再建

聖書：レビ 1:3-11, 13-14, 17. 6:9, 12 前半, 13. 民 28:2.

エズラ 1:2-3, 5. 3:2-3, 6 前半. 詩 43:4 前半. エペソ 5:2. ローマ 12:1

I. 「神の人モーセの律法に書かれているとおり、イスラエルの神の祭壇を築いて、全焼のささげ物をその上にささげた」——エズラ 3:2 後半：

A. わたしたちは家の回復のために、祭壇の回復を必要とします——1:2-3, 5. 3:2-3：

1. 召会生活のために回復されるべき第一のものは、祭壇です——ローマ 12:1：

a. わたしたちは召会生活を持つことができる前に、あらゆるものを祭壇の上に置かなければなりません——詩 43:4 前半。

b. わたしたちは、自分が持っているすべて、自分であるすべて、自分が行なうことができるすべてを祭壇の上に置いて、神に満足していただかなければなりません。この事が召会生活の開始です。

2. 問題は、わたしたちがバビロンからエルサレムに帰還したにもかかわらず、エルサレムでなおも自分自身の利益のために多くのものを保持していて、神の権益と神の満足のためにあらゆるものを祭壇の上にささげていないかもしれないということです——ローマ 12:1：

a. わたしたちは、エルサレムに帰還していても、バビロンにいた時のような生活を維持すべきではありません。

b. エルサレムでの生活は、絶対的に主の権益のためでなければなりません。

B. 全焼のささげ物の祭壇は、キリストの十字架を予表しています——出 27:1. 40:6. ヘブル 13:10：

1. 神はご自身のエコノミーにおいて、ひとりのパーソン(キリスト)と一つの道(十字架)をわたしたちに与えます——I コリント 2:2：

a. 十字架は、神のエコノミーにおける神の活動の中心です——ガラテヤ 1:4. 2:19-21. 3:1, 13. 5:24. 6:14。

b. 神は十字架によってあらゆるものを統治し、十字架によってあらゆるものを対処します——コロサイ 1:20-22. 2:11-15。

2. 十字架は、すべての霊的な経験の基礎、立場です。すべての霊的な経験は、十字架から開始します——ガラテヤ 2:20. 6:14. I コリント 2:2：

a. わたしたちは霊的に前進するために、日ごとに十字架を経過する必要があります——マタイ 10:38. 16:24. ルカ 14:27。

- b. わたしたちは正常な召会生活を持ちたいなら、十字架を経験する必要があります——エペソ 2:14-16。
- c. わたしたちは十字架を経過して、無になり、何も持たず、何も行なうことができないようになる必要があります。そうでなければ、わたしたちであるもの、わたしたちが持っているもの、わたしたちが行なうことができることは、キリストに置き換わるものとなってしまいます——I コリント 1:17-18, 23。

II. 「彼らは……全焼のささげ物をエホバにささげ始めた」——エズラ 3:6 前半:

A. 全焼のささげ物が表徴しているのは、キリストが神の満足のために絶対的であるということです——レビ 1:3-9:

- 1. 完全に神の満足のためであった全焼のささげ物が予表しているのは、神の喜びと満足としてのキリストです——エペソ 5:2。
- 2. 全焼のささげ物が予表しているのは、キリストが神に対して完全で絶対的な生活をしたということだけではなく、キリストが神の民にこのような生活をさせることができる命でもあるということです——ヨハネ 5:19, 30. 6:38. 7:18. 8:29. 14:24. II コリント 5:15. ガラテヤ 2:19-21。
- 3. 全焼のささげ物はキリストご自身であり、そしてわたしたちは彼と一です。こういうわけで、全焼のささげ物はまた、わたしたちがキリストと一であるということです——I コリント 6:17。

B. 全焼のささげ物は神の食物のためであり、それは神がそれを享受し、満足するためです——民 28:2:

- 1. 神は全能ですが、ご自身の食べるものを自ら備えることはできません。神の食物は、ご自身の民から来なければなりません——2 節。
- 2. キリストは神の食物です。しかし彼は直接、神の食物となるのではありません。むしろキリストは、わたしたちによって神に給仕される神の食物です。

C. 「全焼のささげ物」と訳されたヘブル語は文字どおりには、「上って行くもの」を意味し、神に昇っていくものを示しています。この昇っていくことはキリストを指しています——レビ 1:3, 10, 14:

- 1. 地から神に昇っていくことができる唯一のものは、キリストが生きられた生活です。なぜなら、キリストは、神のために絶対的である生活をした唯一のパーソンであるからです——ヨハネ 6:38:
 - a. キリストはわたしたちの全焼のささげ物として、完全に神のためであ

り、絶対的に神のためです——ヨハネ 4:34. 5:30. ヘブル 10:8-10。

b. 主イエスであったものは何であれ、彼が語ったことは何であれ、彼が行なったことは何であれ、絶対的に神のためでした——ヨハネ 6:38. 5:17, 36, 43. 8:28. 10:25. 12:49-50。

2. 全焼のささげ物としてのキリストの上にわたしたちの手を置くことによって、わたしたちは彼に結合されます——レビ 1:4. I コリント 6:17。

3. キリストはわたしたちの中で生きるとき、ご自身が地上で生きた生活、すなわち全焼のささげ物の生活を、わたしたちの中で繰り返します——ガラテヤ 2:20。

D. 全焼のささげ物は、「エホバを満足させるかおり」です——レビ 1:9, 13, 17:

1. 「満足させるかおり」と訳されたヘブル語は文字どおりには、「安息の香り、あるいは満足の香り」を意味します——9 節。

2. 満足させるかおりは、満足と平安と安息とをもたらす香りです。そのような満足させるかおりは、神にとって享受です。

3. キリストは、絶対的に神の満足のためである生活をしたので、彼の生活は、満足させるかおり、すなわち神の喜びと満足のために神に立ち昇る甘い香りでした——エペソ 5:2。

III. レビ記において最初に述べられているささげ物は、罪のためのささげ物でも違犯のためのささげ物でもなく、全焼のささげ物です——レビ 1:3:

A. わたしたちは、最初にキリストをわたしたちの全焼のささげ物として必要とします。なぜなら、神の御前でわたしたちの最初の状況、神とのかかわりにおけるわたしたちの最初の問題は、違犯の事柄ではなく、神のためではないという事柄であるからです:

1. 神がわたしたちを創造したのは、わたしたちが神の表現また代理となるためでした——創 1:26。

2. 神がわたしたちを創造したのは、わたしたち自身のためではなく、わたしたちが神ご自身のためとなるためでした。しかし、わたしたちは墮落した人として、自分自身のために生きており、彼のために生きていません。

B. 全焼のささげ物が意味するのは、わたしたちが神を表現し代行するために神によって創造された人として、神以外の何もののためでもあるべきではないということです——創 1:27-28. 参照、詩 73:25. マルコ 12:30。

C. わたしたちは、自分が神のために絶対的でないこと、また自分自身の中で

は絶対的になることはできないことを認識する必要があります。ですからわたしたちは、キリストをわたしたちの全焼のささげ物とする必要があります——レビ 1:3-4。

IV. 常にささげる全焼のささげ物の生活をするのは、生きた犠牲になることです——ローマ 12:1 :

A. 全焼のささげ物は、わたしたちの献身の予表であり、わたしたちが自分自身を生きた犠牲として神にささげることの予表です。献身の意味は、自分自身を生きた犠牲として神にささげることです——レビ 1:3-4, 8-9. 6:9, 12 前半, 13. ローマ 12:1。

B. 旧約における日ごとの全焼のささげ物が予表しているのは、新約において、神に属するわたしたちが日ごとに自分自身を神にささげるべきであるということです——民 28:3-8。

C. 今日、わたしたちのクリスチャン生活と召会生活には、常にささげる全焼のささげ物が必要とされます——レビ 1:3-4, 8-9. 6:9, 12 前半, 13。

V. わたしたちは、全焼のささげ物としてのキリストをもって父なる神を礼拝して、神に満足していただき、神の願いを成就する必要があります——レビ 1:3, 9 後半. 民 28:2. ヨハネ 4:23-24 :

A. 神は、わたしたちがすべてのささげ物の実際としてのキリストをもって神を礼拝することを願っています。ささげ物は、神を喜ばせ、神を幸いにするためです——ヨハネ 4:23-24。

B. 正しい礼拝は、全焼のささげ物としてのキリストをもって神に満足していただくという事柄です——I ペテロ 2:5. ヨハネ 4:34. 5:30. 8:29 :

1. わたしたちが全焼のささげ物の実際としてのキリストをもって御父を礼拝するとき、神に喜ばれるかおりは神に立ち昇り、神を満足させます——レビ 1:9. ヨハネ 4:23-24。

2. わたしたちが全焼のささげ物の実際としてのキリストを神にささげること、神は満足されるので、神がわたしたちを受け入れることは甘美なこととなります。この事が全焼のささげ物の意義です——民 28:2。